

令和7年度「弟子屈町 体力向上アクションプラン」

1 課題（令和7年度に向けて）

○ 児童生徒の課題	○ 体力向上に関して抱える組織的な課題
・小学校中学校共に多くの調査項目で全国を上回るものの、持久力や柔軟性に課題が見られる。 ・小学校・中学校共に、ゲームや携帯電話・スマートフォンの利用時間の多さや睡眠時間の短さなど、生活習慣の改善が必要である。	・「体育の授業が楽しい」「運動が好き」だと感じる児童生徒の割合が増えてきた。引き続き、主体的な活動を取り入れた日常の授業改善が必要である。 ・各校で体力向上計画を定期的に見直すとともに、実態を踏まえた体力向上の取組を行う等、PDCAサイクルの確立が求められる。

2 目標（数値目標）

児童生徒の体力向上、運動習慣の改善に係る目標	小学校	中学校
「運動やスポーツをすることが好き・やや好き」と回答する児童生徒の割合	90%	90%
「進学(卒業後)、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思う」と回答する児童生徒の割合	80%	80%
「体育の授業が楽しい」と回答した児童生徒の割合	90%	90%
「体育の授業で、進んで学習にいつも参加、だいたい参加」と回答した児童生徒の割合	90%	90%
「授業で、目標を意識した学習でいつもできる・だいたいできる」と回答した児童生徒の割合	80%	80%
体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定した学校数	4校	2校
体育・保健体育の授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った学校数	4校	2校
目標(めあて、ねらい)を児童生徒に示す活動をいつも取り入れている学校数	4校	2校
学習したことを振り返る活動をいつも取り入れている学校数	4校	2校
体力向上に関して抱える組織的な課題を解決するための目標		
・全教職員による体力、運動習慣、生活習慣等の課題及び改善の方向性についての共通理解を図る。 ・各校とともに調査結果を踏まえた体力向上計画を策定し、PDCAサイクルの確立を図る。 ・家庭（PTA）と連携した児童生徒の基本的な生活習慣の改善を推進する。		

3 令和6年度アクションプラン

児童生徒の体力向上、運動習慣の改善に係る教育委員会や学校におけるアクション	
教育委員会	・体力向上に係る教育委員会の目標指標や取組の方向性について校長、教頭との共通理解 ・体力向上や運動習慣・生活習慣の改善に係る保護者や地域への情報発信 ・社会教育と連携した運動やスポーツの機会の提供
学校	・客観的分析に基づいた学校体力向上計画の作成 ・年間を見通した体力向上（1校1実践を含む）の取組 ・目標や振り返りを位置づけた授業の改善
体力向上に関して抱える組織的な課題を解決するための教育委員会や学校におけるアクション	
教育委員会	・年度始めの校長会及び教頭会で、体力向上に係る町の目標指標や取組の方向性についての共通理解 ・教育局と連携し、体力向上に係る取組の進捗状況の確認や指導主事からの指導・助言 ・全国体力・運動能力調査の結果分析と弟子屈町体力向上アクションプランの策定 ・各学校の1校1実践の取材及びホームページや広報誌による保護者・地域住民への情報発信
学校	・体力向上担当者を中心とした学校体力向上計画の作成及び全教職員による共通理解 ・PDCAサイクルに基づいた学校体力向上計画の見直し・改善（全教職員で） ・授業改善、体力向上の取組、新体力テストの実施に係る校内研修の実施 ・体力向上に係る学校の取組の情報発信（学校だより、ホームページ） ・家庭（PTA）と連携した、基本的な生活習慣の改善を図る取組の推進